

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/10/18 ～2021/12/04)

新型コロナウイルスの影響により、私は現在、オンラインで留学を行っています。この報告書を通して、今後オンライン留学を行う可能性がある方の役に少しでも立てるような情報を提供していけたらと思います。

1. 勉学の状況

授業が始まってから約2か月が経ちました。最近では授業に慣れることができ、少し余裕をもって取り組むことが出来ている気がします。ここではまず 1. 留学先の大学について、2. 所属する学部について、3. 取っている授業について、4. オンライン授業を2か月やって感じるメリットとデメリット、の4つを上げていきます。

1.1. 留学先の大学

私の留学先は、プトラマレーシア大学 (University of Putra Malaysia, UPM) です。この大学に1年間留学することになっています。プトラマレーシア大学は、マレーシアで2番目の大学だそうです。さらに世界大学ランキング132位と、非常にハイレベルな学校です (ちなみに千葉大学は1001-1200台だそうです (THE 世界大学ランキング日本版より))。そのため、優秀な生徒が多く、1人1人が目標を持って積極的に授業に参加しています。さらに、農業系に強く、大学の敷地内に牧場や畑があるため、キャンパスがすごく大きくて、緑が豊かだと聞いています。

1.2. 所属する学部

私の所属する学部は、Faculty of Forestry and Environmental Sciences で、Environmental Management のプログラムを取っています。私がこの学部を選んだ理由は、より専門的な知識を学びたかったからです。この学部では、環境問題をどうマネジメントしていくかを具体的に学ぶことが出来ます。例えば、固形廃棄物 (Solid Waste) をどう処理していくか、や、限りある資源をどうマネジメントしていくか、持続可能な社会を作っていくためにはどうすべきか、水の品質を保つためにはどうマネジメントしていくか、など環境問題を解決する具体的な手法を学ぶことが出来ます。また、プログラムは違うのですが、この学部には Forestry のプログラムもあります。私は、生物多様性に興味があり、研究も生物多様性を保全するために、どうしていくかを題材に進めています。Forestry では、森林マネジメントや、生物多様性保全、森林生態系などを学ぶことが出来ます。マレーシアには熱帯雨林があり、固有の植物や動物が多く生息しています。また、その一方で経済発展のために、森林破壊が行われ、多くの種が絶滅の危機に瀕しています。そのため、マレーシアでは、経済を発展させつつ、森林を保護していくにはどうすれ

ばいいのかという研究が日本よりも発達しているように感じます。そのため、得られる情報が非常に多く、授業は大変興味深いです。Faculty of Environmental Management は、環境マネジメントについて学びたい、森林学について学びたいという方にぜひおすすめの学部です。

1.3. 取っている授業について

私は、現在 5 つの授業を取っています。留学生は前期で、最低 12 単位を取らなければいけないらしいです。取っている授業についてそれぞれ説明していきます。

・Economic Valuation of Forestry Resources and Biodiversity

この授業は、森林資源や生物多様性を経済評価しようという授業です。2 人の環境活動家がいたとします。1 人はこう訴えかけます。「我々がこの森林を失うと、大変な事になる！だから森林を守りましょう！」もう一人はこう訴えかけます。「我々がこの森林を失うと、損失は 10 億円になる！だから森林を守りましょう！」どちらの方が説得力があるのでしょうか。ただ漠然と資源を守ろう、生物多様性を守ろうと訴えかけるのではなく、お金という、目に見える指標で資源や生物多様性を評価し、失う事で発生する損失を考えることで、訴えに現実味を帯びさせ、具体的な行動をとらせようというのがこの授業の目的です。この授業は、先生の都合もあってあまり進んでいません。今後、具体的にどう評価していくかを学べたらなと考えています。

・Forest Management

森林マネジメントの授業です。森林マネジメントは、ただ森林を保護すればいいだけでなく、その森林に関わるステークホルダーの利益についても考えていかなければなりません。そうすることで持続的な森林マネジメントを行うことが出来るからです。森林保護と経済発展、それを同時に行うにはどうすればいいのかについて学んでいます。

・Sustainability and Society

この授業では、人間活動が環境にどう影響を与えるのかについて学びます。例えば、今授業で行っているのは、企業活動が環境に与えるコスト、ベネフィットはどれくらいかの計算です。多くの人は、企業が企業活動を行っていく上で、給料や、インフラ整備などのコストや、商品販売による利益などのベネフィットが発生することは分かると思います。しかし、企業活動が環境に与えるコストやベネフィットについて考えたことはあるでしょうか。コストとしては、生態系の破壊や、ごみ処理にかかる費用などが挙げられます。一方、ベネフィットとしては、企業が主体となってやっている環境啓発活動によって得られる利益が挙げられます。経済的なコスト・ベネフィットだけでなく、環境的なコスト・ベネフィットを踏まえたうえで企業を評価しようというのが今やっている授業の内容です。

・Environmental Economics and Management

この授業では、環境問題を解決しつつ、経済活動を進めていくにはどうすればいいのかを学びます。この授業は環境経済学とも言えます。環境は公共資源です。そのため、市場の失敗（Market Failure）が発生し、環境問題が発生してしまいます。それを無くするためにはどうすればいいのかを学んでいます。この授業は経済学の授業で、予備知識が全くない私には、かなり大変な授業となっていますが、新しい知識を得られるので非常に興味深いです。

・Environmental Quality Management

この授業では、固形廃棄物の持続的な処理方法、Hazardous Waste の処理方法、空気汚染対策など、環境クオリティを上げるにはどうしたらいいのかについて学んでいます。マレーシアと日本ではごみ処理の仕方がかなり違っており、日本とマレーシア、それぞれの良いところ悪いところを知ることが出来ています。

どの授業もレベルが高く、予習・復習をすることで何とかついていけているレベルです...ただ、その分得られる情報が非常に濃くて、取って本当に良かったと思っています。

1.4. オンライン授業のメリット、デメリット

約2か月間オンライン授業を受けて考えるメリット、デメリットを挙げていこうと思います。

<メリット>

1. 日本で授業を受けているので、授業にだけフォーカスすることが出来る

もし現地に行った場合、授業に加えて、向こうの生活に慣れる必要があると思います（申請手続きなど）。そのため、授業だけに100%力を注ぐのは困難であると考えます。しかし、オンラインでは慣れ親しんだ日本で授業を受けることが出来るため、生活については心配することがなく、授業にだけ集中することが出来るのではないかと考えます。

2. 出費を抑えることが出来る

日本で授業を受けるため、飛行機代や向こうでの生活費を削減することが出来ます。ただ、マレーシアの場合、生活費は向こうの方が安いと思うので何とも言えません...

3. 留学と同時に、日本での活動を進めることが出来る

私は留学と合わせて、卒論の準備を進めています。大学5年で卒業する予定なので、今研究を進める必要はないのですが、日本にいたので実験を進めることができています。今のうちにある程度研究を進めることで、来年の負担を削減することが出来ます。さらに日本にすることで、バイトや就活もできます。渡航できることを信じて、今のうちに旅行費をためるのもよし、企業の説明会に参加し、就活を有利に進めることもできると思います。

<デメリット>

1. 先方の大学とコミュニケーションを取りづらい

対面ではないので、話の食い違いなどが頻発していました。今回、向こうの大学もオンライン留学を進めることが初めてという事で、かなりバタバタしていたこともあると思いますが、たらい回しにされることが多々あり、対面でコミュニケーションできないことの大変さを痛感しました。

2. 留学している実感がわからない

授業は現地の学生と行い、留学をしているなという気分を味わえますが、一歩家の外に出ると日本です。留学をしているという実感がわからず、モチベーションを維持するのが難しいかもしれません。

3. 取れない授業がある

私が所属している学部はフィールドワークが多いため、ここが一番つらかったです。取りたい授業があったのですが、フィールドワークに参加することが出来ないので、諦めました。その授業を取るために、この大学に留学したともいえる授業だったので、とても悔しかったです。後期の授業は全て対面の授業になるとのことだったので、今はとても不安です。授業を取るときは、その授業をオンラインでとることが出来るのかをしっかりと確認してから取りましょう。

以上のように、オンライン留学には様々なメリット・デメリットがあります。ぜひ、オンライン留学にするか、渡航するかを判断するうえで役立ててほしいと思います。

2. 生活の状況

日本で授業を受けているので特に書くことがないのですが、ここでは現地の学生について話したいと思います。マレーシアの方々はとても親切です。私達がオンラインでしか留学できないという事を考え、オンラインでのイベントを定期的で開催してくれています。マレーシアの文化について学べるイベントでは、伝統舞踊を披露してくれたり、マレー語を表記するためのジャウィ語の書き方講座、マレー語講座などを行ってくれたりしています。さらに、バディ制度というものがあり、現地の学生とバディを組んでお話をしたり、バディの学生が開催するイベントに参加したりしています。これらのイベントがあることで、自分は留学をしているのだと改めて実感することができ、さらに早くマレーシアに行きたいという意欲を高めさせてくれます。

また、私が日本人という事もあり、多くの学生が話しかけてくれます。驚くことにマレーシアでは日本のアニメが大流行しており、アニメを見て日本語を勉強しているという学生が多くいます。大半の学生が日本語を話すことができ、「こんにちは」とチャットで話しかけてくれます。私のバディの子は、日本語で会話することが出来ます。前は、2人で日本のアニメについて、

日本語で熱く語り合いました。私が困っている際に、多くの学生が「大丈夫？」と心配してくれていることで、今まで授業について行くことが出来ています。早く渡航することが出来るようになり、今まで助けてくれた現地の学生に直接「ありがとう」と言える日が来ることを願っています。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/12/05 ～ 2022/04/04)

第1回報告書を提出してから、かなりの期間が空いてしまいました。入国手続き、1学期の期末テスト、渡航準備などでかなり慌ただしかったため、報告書を提出するのが今になってしまいました。自分が渡航準備をしていて、もっとスマートにできたなと反省していることをまとめたつもりなので、ぜひ読んで頂き、渡航する際に少しでも役立てていただければと思います。

1. 勉学の状況

勉学の状況に関しては、1学期に取っていた授業について、2学期に受けている授業について話したいと思います。

1.1.1 学期の授業について

1学期は、5科目を取っていました。ただ、今考えると5科目も授業を取ったのは、間違いだったと感じています。理由としては、授業について行くのが精いっぱい、5つも「手が回らない」からです。学部によって異なるのかもしれませんが、プトラマレーシア大学（次回から UPM とします）で留学生が1学期に取るべき単位は最低9、最大18単位です。1つの科目が大体2～3単位なので、最低3科目取れば大丈夫です。1学期は3～4科目取って、その結果をもとに2学期に取る授業数を決めることをお勧めします。最初から無理をするのは止めましょう。

では、5科目取った授業はそれぞれどうだったかをまとめていきます。

・Economic Valuation of Forestry Resources and Biodiversity

この授業は、森林資源や生物多様性に価値をつけて、経済的に比較できるようにしようという授業です。正直に言いますと、後に述べる Sustainability and Society、Environmental Economics and Management と授業内容が被っていました。さらに先生が忙しかったのか、授業がほぼ行われず、資料が配られてそれを自分たちで読み、テストに挑むという形でした。環境の経済評価に興味があるのならば、Sustainability and Society、Environmental Economics and Management の授業を優先して取ることをお勧めします。

・Forest Management

この授業では、マレーシアでの森林管理がどのように行われているのかを学びました。ただ、オンラインでの授業であったため、実習がなく、実際にどのように森林管理が行われているのかを想像することが難しかったです。もしこの授業が対面で行われるのであれば、日本の森林管理とマレーシアの森林管理の違い、実際にどのような森林管理が行われているのかを知ることが出来ると思うので、興味深い授業だと思います。

・Sustainability and Society

この授業は2単位の授業でした（他の科目は全て3単位です）。2単位の授業であったため、授業時間も2時間と他の授業と比べて少ないですが、授業内容はかなり充実しており、Environmental Economics and Managementの授業とセットでとることをお勧めします（この2つの授業は先生も同じ人です）。Environmental Economics and Managementが専門的な授業であるとするれば、この授業はジェネラルな授業でした。環境問題を解決するにはどうすればいいのかを、主に経済、法律の観点から浅く広く考えます。ただ、課題・プレゼンの量がえげつないので、Environmental Economics and Managementとセットでとる場合は、授業数に余裕をもってとることをお勧めします。テストはジェネラルなものだったので、そこまで大変ではありませんでした。

・Environmental Economics and Management

1学期に私の頭を悩ませたのがこの授業と、次に述べる Environmental Quality Management です。環境問題を経済の観点から考える授業なのですが、経済学を取っていなかったことを後悔しました。1から経済学を学びつつ、専門的に環境問題についても考え、さらに課題やプレゼンが大量にあるという辛くも充実した日々を過ごすことが出来ました。この授業を取るのであれば、少しは経済学について知っておくと良いと思います。ただ、他の学生さんも経済学に触れるのは初めてだったらしいので、先生も丁寧に説明してくれました。当たり前かもしれませんが、授業前に教科書を予習し、授業内容を完璧に理解してから、授業を復習代わりに受けることをお勧めします。期末テストの時間は3時間だったのですが、全く足りませんでした。

・Environmental Quality Management

この授業では、廃棄物処理や水質汚染、空気汚染などの環境問題について広く学びました。この授業は女性の先生が授業を行っているのですが、話すスピードがとても速いです。そのため一瞬でも聞き逃すと授業が流れていき、追いつけなくなります。また課題とプレゼンがとても厳しく評価されます。同じグループの学生さんが優秀で、頭が全く上がりませんでした。「環境問題！環境問題を解決しよう！」と日ごろ人々が口をそろえて言っていますが、ふと「環境問題って実際どういう事だ？」となった時に、とても参考になる授業だと思います。

以上が1学期に取った5科目です。アドバイスとして、「自分の容量を超える授業数を取るな」という事を覚えて頂けると幸いです。また、授業を選ぶ時の参考にしてもらえると嬉しいです。

1.2.2 学期の授業について

2学期は、1学期の事を反省して、以下の4科目だけを取っています。

- ・Wildlife Community Ecology
- ・Wildlife Management
- ・Malay Language Communication
- ・Forestry Ecology

Wildlife Community Ecology、Wildlife Managementは1学期に取ろうとして対面授業だったの

で断念した授業です。2 学期も同じ授業が開講されていたので、すぐに取りました。他の授業はまだ本格的に授業が始まっていないので、授業内容はよく分かりません。UPM では、4 月から対面授業が出来るようになるそうで、楽しみにしています。

2. 生活の状況

私が渡航できるという状況になったのが、12 月に入ってからです。12 月に UPM から、2 学期からマレーシアへの渡航を許可するという旨のメールが届きました。渡航準備から、UPM の寮到着までのざっくりした理想プランは以下の通りです。

1. UPM から渡航許可のメールが来る
2. 千葉大学に渡航許可をもらうための資料作成開始
3. 留学生課で上記資料等の確認を受ける
→安全性がある程度確認されれば、VISA 申請に必要な Letter の作成を留学生課に依頼する
4. VISA 申請開始
5. 千葉大から渡航許可が下りる
6. VISA 取得
7. 隔離ホテルの予約
8. 飛行機のチケット購入
9. 渡航
10. マレーシア到着後、ホテルで隔離
11. 隔離終了後、UPM の寮へ

マレーシアへの渡航準備を始めてから、渡航まで 2 カ月以上かかってしまいました。1～11 のステップの中で、特に大変で注意が必要なのは、2. 4. 8 です。それぞれについて説明します。

2. 1. 渡航許可をもらうための資料作成

コロナ禍で渡航するにあたり、千葉大に渡航を許可してもらう必要がありました（今後もこの資料を作成するのかは分かりませんが、少しまとめておきます）。チェックリストが渡され、現地でコロナに感染した場合どうするか、PCR 検査が必要かなどの情報を集め、それを大学に提出します。資料作成は、もちろん大学に許可をもらうために行いますが、実際に現地に行ってコロナに感染した場合に、事前に調べておくことによってパニックにならなくて済むことも目的の一つです。事実、マレーシアに入国する際、陰性証明書やワクチン接種証明書など、様々な書類を提出する必要がありましたが、事前にどのような手続きが行われるかを事前に知っていたため、スムーズに進めることが出来ました。

この資料作成に関してのアドバイスは、「①資料作成を早く始める」、「②早く始めるのも大切だが、早すぎるのもだめ」の 2 つです。ありきたりですが、これを肝に銘じてください。この 2 つのアドバイスについては、2. 2. と 2. 3. で説明します。

2.2. VISA 申請

この VISA 申請が全ての渡航計画を踏みにじりました。そもそも VISA を取得するのに時間がかかるという事は知っていたので、渡航しようと決めていた日の 2 か月前から手続きを始めました。しかし、結果は渡航日に間に合いませんでした。(VISA 申請方法については、ぜひ千葉大の留学派遣生からのレポート(留学中の報告)に載っている 2019 年プトラマレーシア大学の報告書を読んでください!!とても分かりやすくまとめてくださっており、大変参考になります。現在は、コロナの影響で少し手続きが異なることもありますが、ほぼ報告書にまとめてくださっている内容で手続きを進められるので、ぜひ読んでください。) コロナ禍で人員削減したのか分かりませんが、EMGS という学生ビザを発行する機関が全く機能せず、他の留学生も授業開始日に間に合わないで大騒ぎしていました。ここで活かされるのが、アドバイス①の「資料作成を早く始める」です。VISA 申請をするのに、千葉大から Letter を書いてもらう必要がある(詳しくは 2019 年の報告書を読んでください!)のですが、それを取得するために、2.1. の資料を留学生課に提出する必要があります。私は VISA 申請が出来るとなった日から、資料作成を始めてしまいました。もし VISA 申請が始まる前からコツコツと情報収集を始め、VISA 申請が出来るときには、大学からすでに Letter を取得していたら、もっと時間を削減できたかもしれません。したがって、渡航許可をもらうための資料作成は早め早めに始めておくことをお勧めします。

2.3. 飛行機チケットの購入

ここでアドバイス②「早く始めるのも大切だが、早すぎるのもだめ」が活かされます。渡航許可をもらうための資料を作成する際に、項目として、「飛行機チケットの取得」「隔離ホテルの予約」「寮の予約」が挙げられていますが、これは VISA がいつ取得できるかがある程度把握できてから手続きを始めてください。私は、この 3 つの項目について、VISA がいつ下りるか分からない状況で「まあこのくらいの期間には終わるでしょ」という軽い気持ちで予約を行ってしまいました。その結果起きたのが、キャンセルの嵐です。案の定、VISA は予想していた時期には下りず、フライト、PCR 検査をキャンセル、隔離ホテル、寮の入居日を延期してもらいました。いくつかは先方の優しさでキャンセル料を支払わずに済みましたが、かなりの痛手を負いました。そのため、渡航許可をもらうための資料作成の段階で、すでにいろいろと予約をするのではなく、この時点では目星だけをつけておいて、VISA がこれくらいに下りそうだと把握できてから予約は行うようにしてください。これに関しては、留学生課の方にこのやり方でよいかは聞いていないのですが、ぜひ私の反省を基に、柔軟に対応していただければと思います。

以上で、マレーシア入国までの注意点は終わりです。私の反省点と、2019 年の報告書を基に円滑に渡航準備を進めていただければと思います。もし、何か不安な点や分からない点があれば、私に連絡してください。ただ、マレーシアは 4 月から 3 回ワクチン接種をすれば、隔離なしで入国できるようになるそうです。そのため、また手続きが変わるかもしれません。その場合は、お役に立てないかもしれませんが、なるべくお助けできるように頑張りますので、ぜひコンタクト

取っていただければと思います！また、1 年派遣留学することになって、1 学期は日本からオンラインで授業を受け、2 学期からマレーシアに行こうかなと考えている方、全くお勧めしません！！！！ 1 学期の期末テスト、渡航許可をもらうための資料作成、渡航準備でかなり精神的に参ってしまう恐れがありますので、余裕をもって 1 年いけるのなら 1 年現地で楽しく過ごしてください！

留学中に 3 回報告書を提出することになるので、マレーシアでの生活については、次回の報告書でお話しようと思います。長くなってしまいましたが、私の失敗を生かして、楽しい留学生活を送ってください！ここまで読んで頂き、ありがとうございました。